

ふるさと  
資料紹介  
= 61 =

史料と地名からみた

地区の歴史 ⑬

蜂屋 (三の二)

加治田城 (現・富加町内) の城主・佐藤紀伊守を見方に引き入れ、織田信長は堂洞城を攻め始めます。永禄五年(一五六二年)八月二八日のことです。

堂洞城主の岸勘解由は十倍以上の軍勢を相手に必死に抵抗しましたが、ついに攻め落とされました。岸勘解由も自ら命を絶ちました。

蜂屋町北方(富加町夕田地



内)の堂洞城址には現在も本丸や出丸、空掘の跡が残っています。本丸であったと思われる広場には「南無阿弥陀佛」と刻まれた石碑が立ち、激しい戦いのあったことをしのばせています。

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成八年六月分)

- 俵編み機など 六点 (後藤幸平さん/太田本町)
  - 馬の鞍など 五点 (渡辺敬夫さん/太田本町)
  - 針箱、長火鉢など 六点 (佐々木喜忠さん/下米田町)
- 計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内/内四〇八)まで情報をお寄せください。